

「JR新駅周辺地区」における奈良県、奈良市とJR西日本(株)との連携協定

【連携協定の趣旨】

- 「JR新駅周辺地区」のまちづくりの核となる都市施設である「西九条佐保線の平面道路化・JR関西本線の高架化・新駅設置」について、平成27年11月27日に都市計画変更を終え、平成28年度より新規に事業がスタート
- 県と奈良市が協働して策定する「JR新駅周辺地区」の土地利用計画、交通計画等を含む「まちづくり基本構想」が纏まりつつある段階
- このタイミングにおいて、県・奈良市・JR西日本での連携体制を一層強化し、JR新駅を中心とした当該地区の持続的なまちづくりの推進に向けて、事業のキックオフを行うもの

【連携協定締結の位置づけ】

「奈良県と奈良市のまちづくりに関する包括協定」(H27.1.23締結)の対象地区となっている「八条・大安寺周辺地区」の一部である「JR新駅周辺地区」において、JR西日本も含めた3者が連携して行く、まちづくりに係る基本的な取組み事項を定める。

「奈良県と西日本旅客鉄道株式会社との包括的連携協定」(H25.10.21締結)の包括的連携事項を具体化し、奈良市も含めた3者にて当該エリアの実践展開を図る。

【連携事項】

奈良県、奈良市およびJR西日本(株)は、下記の事項について連携し協力する。

- (1) JR奈良駅と郡山駅間に設置するJR新駅およびその周辺の整備に関すること。
- (2) JR新駅を中心としたまちづくりやアクセス環境整備に関すること。
- (3) JR新駅周辺地区を中心とした観光振興に関すること。
- (4) JR新駅の利便性・快適性向上および利用促進に関すること。
- (5) JR新駅周辺地区の安全・安心の確保および災害対策に関すること。

【連携協定締結のイメージ】

